

# 共有情報通じ事例実践



環境への取り組みについて情報共有などが行われた第8回エコアクション21全国交流研修大会

## エコアクション21

# 講演やパネル討議

# 北上で全国交流研修大会

第8回エコアクション21全国交流研修大会in北上(実行委主催)は25日、北上市川岸のホテルシテイプラザ北上で開幕した。環境省が策定したガイドライン「エコアクション21」の発展を期する大会で、参加者は26日までの2日間、講演会や事例発表、パネルディスカッションなどを通じ、持続発展可能な社会づくりや環境への取り組みなどについて情報を共有し、研鑽に励んでいる。

エコアクション21は、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、仕組みを作り、実行し、それらを継続的に改善し、結果を社会に公表するための方法について環境省が策定したガイドライン。これに基づいて環境への取り組みを適切に実施している事業者を、同省が認めた第三者機関で認証、登録を行っている。

初日は認証、登録に携わる審査人と地域事務局員、事業者ら約450人が出席した。基調講演では陸前高田市の戸羽太市長が「陸前高田市の被災状況と今、そして復興へ」と題して講師を務めた。取り組み事例紹介では、本県と福島県、青森県の事業者がそれぞれ発表。このうち教育機関の登録第一号である郡山開成学園(福島県)は、eCO検定受験対策講座の開催や環境講演会の開催、敷地内学校林への植樹など学生と一体となった環境への取り組みを紹介した。

このほか、業種別の分科会や交流パーティーなどが開かれた。26日は午前9時から同ホテルで分科会の発表とパネルディスカッションなどが行われる。



きたかみ

岩手日日新聞社  
一関市南新町 60

北上支社  
北上市芳町9の5  
電話 0197 (65) 3447  
(65) 0468  
FAX 0197 (65) 1569

©岩手日日新聞社 2013  
http://www.iwanichi.co.jp/